

向上心!

弥生三月は学年の総決算

君にとってのこの一年はどんな一年でしたか?

君は変わらな!

君への三つの質問???

- ① 君がこの一年で見つけた君の長所はどんな点ですか?
また、短所はどんな点ですか?
- ② 君がこの一年を通じて続けられたことは何ですか?
また、続けられなかったことは何ですか?
- ③ 君がこの一年で新しく好きになったことは何ですか?
また、嫌いになったことは何ですか?

人は立ち止まり、振り返り、明日に向かって
 一歩一歩進んでいきます。
 この一年で 実現できなかったことも
 君が希望を失わない限り、
 必ず実現する日が 来ます。
 君の「希望の新学年」を当教室は全力で応援します。



塾長からのメッセージ

あいつのせいだ!!



君が変わらなければ 君の世界は変わらない!

どうしてうまくいかないのだろう?

人はそんな気持ちになる時が必ずあります。むしろ、自分の思うようになることの方がずっと少ないでしょう。それが人生です。

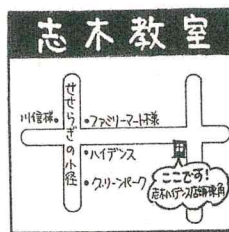
うまくいかない時一番大切なことは、君がうまくいかないことの原因をどう考えているかということです。あいつのせいだ! 先生のせいだ! 親のせいだ! 世の中のせいだ! 君は君がうまくいかないことの原因をすべて自分以外のもののせいにしていませんか? 確かに君の周りの人間は君が望むような完璧な人間ではないかもしれない。今の世の中は君の望むようなものではないかもしれない。でも、君の望むようなものではない人間や世の中に不平を言い続けても、君の未来には一筋の光も見えません。

君が君の足で一歩一歩前を向いて懸命に歩き出さなければ、君が君のかけがえのない人生を生きることにはなりません。

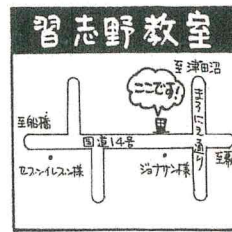
君が変わらなければ君の世界は変わらない!



教検・英検・漢検 実施校!



志木市上宗岡4-6-27-131
 048(472)1618 (昼間受付 月水金PM12:00~)



習志野市谷津2-3-7
 047(452)6461 (昼間受付 月水金PM12:00~)

有限会社GANTS教育研究所

藤進ゼミナール

教室不在時はこちらへお問い合わせ下さい!

048(472)7819

歴史と由来を知っていますか？

ひなまつり

そもそもひな祭りとは？

女の赤ちゃんが誕生すると、迎える3月3日にその子の健やかな成長と幸福を願いながら、男雛と女雛、三人官女を中心としたひな人形や桃の花などを飾り、白酒などでお祝いをする行事をひな祭りと言います。桃の節句とも言います。

なぜ、「桃の節句」なのに桃が咲いていないの？

桃の花の咲く季節、旧暦の3月3日(現在の4月ごろ)に行われていましたが、1873年(明治6年)の暦の改定後は、新暦(現在)の3月3日にお祝いをする事が定着しました。そのため、現在は実際に桃の花の咲く季節よりも一ヶ月ほど早くお祝いをする事となったのです。

ひな祭りのルーツは？

ひな祭りのルーツは「上巳(3月上旬の巳の日という意味、「じょうし」または「じょうみ」と読む)の節句」と言われています。300年頃の古代中国では、季節の節目には災いをもたらしやすいと考えられていた為、心身の邪気を流し災いを祓う意味で、川の水に杯を流す「曲水の宴」(きょくすいのうたげ(えん)またはごくすいのうたげ(えん)と読む)などが行われていました。そのしきたりを、遣唐使が日本に伝えたと言われています。

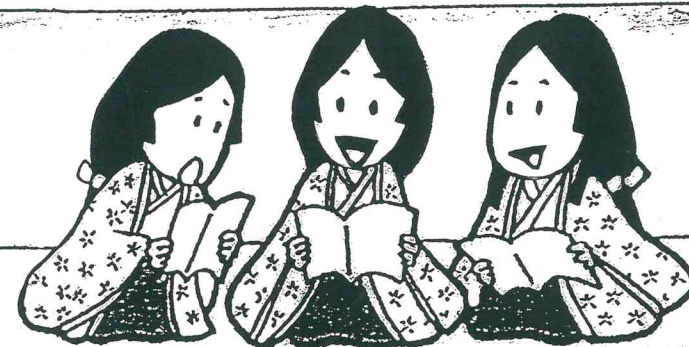
日本でのひな祭りの起源は？

日本での起源は平安時代までさかのぼります。当時、宮中や貴族の子女達が遊び事としていたとの記録が残されています。その当時よりすでに、小さな御殿を飾ったものだったようですが、当時は、現在のような儀式的な意味合いはなく、「ひな遊び」というおもむきの行事で、これが江戸時代に定められた五つの節句(他の四つの節句は七草の節句1月7日・菖蒲(端午)の節句5月5日・七夕7月7日・菊の節句9月9日)を補うものとして受け継がれ、「人形遊び」と「節句の儀式」とが結びつき、全国に広まって「ひな祭り」の行事として定着して行ったようです。



ひな祭りが終わったら、雛人形を早くしまわないとお嫁に行き遅れる？

雛人形は立春(2月4日)頃から3月中旬までに飾ります。飾る前日には桃酒やひし餅などの飾り物をお供えします。そして前日の晩もしくは当日に、両家の両親や友人を招き縁起の良いご馳走でもてなします。雛人形は遅くとも3月中旬までに片付けた方が良いと言われています。「仕舞い遅れるとお嫁に行き遅れる」と言い、これは「片づけの出来ない娘はいいお嫁さんになれないよ」という意味で、年長者からの戒めの気持ちがこめられています。



男の子と女の子の節句はなぜ別々の日なの？

もともとは、5月5日の端午の節句とともに男女の別なく行われていましたが、江戸時代ごろから、華やかな雛人形は女の子に属するものとされ、端午の節句(菖蒲の節句)は尚武(武事を尊び重んじる)ことにかけて男の子の節句とされるようになりました。

